



# 縄文時代を知ろう

2023年

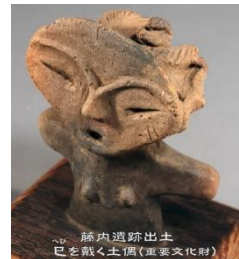
富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、このあたりには「井戸尻(勝坂)文化」と呼ばれる独特な暮らしがありました。中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地で発見された、石器、土器、土偶や、土地の芸能、祭りなどから、その文化にふれ、世相による縄文時代像の変遷にいたるまで学んでいます。

今期のテーマは「生き物でよむ縄文時代」ですが、2022年に亡くなった井戸尻文化研究の巨星、武藤雄六さん、田中基さんの仕事に触れていきたいと思ひます。

講師(案内役) 紹介 藤森寛行 (スワニズムミシャグジ探偵)

1962年信州諏訪に生まれる。故郷諏訪の郷土研究会、スワニズムで、諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻文化について研究している。日野市立児童館非常勤職員



藤内遺跡出土  
へび いただ  
巳を戴く土偶  
(重要文化財)



藤内遺跡出土  
半人半蛙文有孔罎付土器  
(重要文化財)

## 今期のテーマ 生き物でよむ縄文時代

- ① 1/7(土) 縄文前期イノシシ表現から中期人面・神像・ミズチまで
- ② 2/4(土) カエル 井戸尻遺跡群藤内遺跡出土 「半人半蛙文有孔罎付土器」
- ③ 3/4(土) へび 同遺跡出土 「巳を戴く土偶」

時間 10時～12時 第①土曜日(7月から第③土曜日)

場所 社会教育協会「ゆうりか」  
JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)

受講料 6,110円 全3回(保険料・消費税含)

申込み 下記の電話かFAXでお願いします  
TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626

対象 どなたでも

主催 公益財団法人 社会教育協会  
〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

<http://www.zaidan-shakyo.org>

※ 講座内容は変更させていただく場合もあります。

